

平成 2 7 年 第 2 3 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 7 年 1 2 月 8 日（火）午後 3 時

場 所：教育委員会室

教育長	白井正三郎
教育長職務代理者	石井正治
委員	上野操
委員	松原秀成
委員	尾上郁子

事務局	教育推進課長	柴田靖弘
	学務課長	住田雅一
	指導室長兼教育研究所長	稲垣達也
	学校施設担当課長	佐藤弥栄
	統括指導主事	中山兼一

書記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	岡田隆史
	同 主査	飯田常雄

<p>白井教育長</p> <p>稲垣指導室長</p>	<p>開 会 時 刻 午後3時</p> <p>平成27年第23回教育委員会定例会を開催します。</p> <p>はじめに、日程第1、署名委員を決定します。石井委員と上野委員にお願いします。</p> <p>続いて、日程第2、議案の審議に参ります。</p> <p>はじめに、継続となっております第53号議案、いじめ防止生徒会フォーラム開催に伴う教育委員会後援名義の使用承認についてを議題とします。内容について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>第53号議案、いじめ防止生徒会フォーラム開催に伴う教育委員会後援名義の使用承認について、継続でございます。申請書でございますが、おおむね前回と同じでございます。前は、午前の部と午後の部と申請がありまして、午後の部で、生徒会を中心に協議という企画がありましたが、その後、午前中の映画の上映と講演会のみにするということで、変更がありました。内容については、前回の保留中の部分を説明したところでございますが、この申請書の裏面に企画書がございます。事業の目的のところ、前は、不登校の原因がほとんどいじめであるという認識のもと企画書がつけられておりましたが、不登校のきっかけであるとか要因というのは非常に多様多岐にわたっていて、実際、昨年度江戸川区内の不登校のきっかけということで、各学校から出てきたものにはいじめが要因というのは1件もありませんでしたので、不登校というところは全くこの中から除かれました。あくまでも、この主催者はいじめの防止のために映画上映と講演会をしたいというところだったので、その趣旨がわかるように上の部分を書きかわっております。</p> <p>2枚目に、前回なかったものでございますけれども、実施計画書、少し全容がわかるようなものということで、こちらのほうでリクエストさせていただいて、2枚目の表にスケジュール、それから、上映予定の映画「青い鳥」についての概要であるとか、粗筋が書かれております。</p> <p>裏面に、講演をしてくださるジェントルハートプロジェクトの事業の紹介と、それから、講演を予定しています篠原宏明さんの紹介が書かれております。その他3枚目以降は、前回お出ししたもので、同じでございますので省略させていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
----------------------------	---

教 育 長	ありがとうございます。この件に関しまして、ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。
松 原 委 員	当初、生徒会の代表の子どもたちがグループワークを行うということで、個人的には大変期待をしていたんですけども、ないということですが、どんなことでなくなったのですか。
指 導 室 長	なかなか企画を今の段階で明確に出すのが難しいというところと、実際、主催者のほうで各学校に呼びかけて、全部の中学校がどれぐらい協力していただけるかというのなかなか見通しが見つからないというところで、午前中の実行可能な部分にしたというところですよ。
松 原 委 員	そうですか。
上 野 委 員	生徒ばかりじゃなくて、校長に対してもというのは、前回、出ていなかったですか。
教 育 長	学校にお願いをしてということだったような気がします。
尾 上 委 員	日程は2月4日ですよ。2月4日というのは日曜日、休みの日でしたか。
指 導 室 長	土曜日です。
尾 上 委 員	土曜日。なるほど。
上 野 委 員	<p>このいじめの問題についても、非常に区の教育行政と非常に密接な問題がありますよね。区の側から見ると、非常に大切なことだけれども、バランス感覚を持ちながら慎重に進めていかないといけない問題だという認識でやられている。私も、それは賛成なのです。</p> <p>そうすると、民間のいろいろな発想はいいんですが、区内全校の校長先生協力してくれとか、生徒何人ぐらい出してくれとか、そういうようなことを民間のほうからいきなり触れたりするということは、教育行政の立場から見ると、いろいろ混乱すると思うのです。だから、後援名義の承認申請があったときな、やはり気をつけなくちゃならないことじゃないかと。</p> <p>第1回目としては企画書も少しはっきりしてきたし、今回は、後援名義申</p>

教 育 長	<p>請を承認してもいいのではないですか。</p> <p>今、いろいろご意見等をいただきましたけれども、よろしいでしょうか。</p> <p>〔「はい」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、第53号議案は、原案のとおり後援として決定させていただきます。</p> <p>続いて、第56号議案、幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部改正についてを議題とします。内容について、事務局から説明をお願いします。</p>
柴田教育推進 課長	<p>第56号議案、幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部改正についてでございます。</p> <p>この議案につきましては、前回第22回の教育委員会の定例会におきまして、第54号議案といたしまして、第3回区議会定例会の中で、教育に関する事務の議案について区長からの意見聴取の中で、幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部改正ということで、ご審議をいただいたものの関連の規則でございます。</p> <p>あおときに、給与の引き上げの勧告を受けての幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部改正という中で、特別給の支給月数の増ということで条例を改正させていただいております。これにつきましては、先の11月26日の本会議で審議をいただいて、区議会で議決をしたところでございます。ですので、条例として成立をしております。同時に、同じく22回の定例会の中で、55号議案といたしまして、その条例にかかわるものとして規則の改正についてもご審議をいただき、お認めをいただいたものであります。内容としては、特別給を0.1カ月引き上げますという内容の条例改正でございました。</p> <p>その条例のもう一つの条文といたしまして、今年度27年の4月にさかのぼっての実施ということで、今年度については、0.1カ月分を12月に一括で支給をするという内容のものでした。ただ、本則といたしましては、年に2回、6月、12月の支給で、それぞれ0.05カ月分に分けて支給するというところでございます。28年の分については、0.05カ月分にするということで、ここに変更しています。</p> <p>新旧対照表で見ていただいた右側の旧というのは、これは来年度4月1日施行分でございます。この旧の規定というのは先日まであった規則の内容</p>

	<p>でございます。ですので、100分の90というふうに規定をしておりますが、これを100分の85に改正させていただきます。これによりまして、100分の5ずつ2回に分けて支給をしますというものになったものです。それから、再任用については0.05カ月上がるものを2回に分けて0.25、そして、管理職は同じように100分の110を100分の105ということで、0.05ずつ2回に分けて支給をすると、そういう内容でございます。</p> <p>この規則の案につきましては、付則にございますとおり28年4月1日から施行をするというものでございます。そういった内容の改正でございます。説明は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。ただいまのご説明、この件につきまして、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>ないようでございますので、この件につきまして、原案のとおり決定させていただきます。</p> <p>続いて、日程第3、教育関係事務報告に参ります。</p> <p>はじめに、教育委員会後援名義使用承認についての報告に参ります。事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育推進課長	<p>教育推進課から、3点の後援名義等の使用申請につきまして、ご報告を申し上げます。</p> <p>1点目でございますが、江戸川区少年少女合唱団第29回定期演奏会でございます。後援名義は、29回目ということでございまして、江戸川区の後援の申請も出ているものであります。これまでも後援を江戸川区としてもしている事業であります。申請者は、江戸川区少年少女合唱団の団長、そして、事業目的でございますが、合唱団の1年間の練習成果を発表するとともに区内小・中学校の合唱活動の発展、区の音楽文化の振興に寄与することを目的とするものでございます。実施日時ですが、平成28年3月20日、日曜日、午後1時30分から、タワーホール船堀大ホールにおきまして、区内外の児童生徒、区民を対象に開催するものでございます。経費の徴収ですが、入場料といたしまして、大人、子ども、同じく1,000円。そして、賞状・副賞等の授与はございません。後援の内容としては、後援名義の使用になって</p>

<p>教 育 長</p>	<p>ございます。</p> <p>引き続いて、よろしいでしょうか。</p>
<p>教育推進課長</p>	<p>そうですね。お願いします。</p> <p>2点目でございます。第23回小松川平井地区小学校卒業記念ナイトウォークでございます。教育委員会の後援名義の申請は23回目、そして、区の後援名義も申請中でございます。申請者は、小学校卒業記念ナイトウォーク実行委員会の実行委員長からの申請でございます。事業目的でございますが、夜間27キロメートルを完歩するチャレンジ精神と、それをやり遂げた自信を小学校の卒業記念とするために行うというものです。実施日時でございますが、平成28年3月26日、土曜日から、同27日、日曜日まで。小松川小学校を出発、到着地として、地区内の小学校の卒業生と保護者を対象に行う事業です。経費の徴収ですが、一人500円、これは保険料と夜の食料費に充てるというもので、一人500円でございます。賞状・副賞等でございますが、完歩賞を贈呈するという事です。後援の内容につきましては、後援名義の使用と完歩賞賞状への公印の使用ということでございます。</p> <p>続いて、3点目ですが、小岩北地区小学校八校卒業記念ナイトウォークです。こちら、教育委員会後援名義13回目でございます。こちらは、区の後援ということではございません。事業の目的・概要ですが、夜間26キロを歩くことで、保護者は子どもの成長を実感し、卒業生はやり遂げた達成感を実感できる。また、学校、保護者、地域の相互理解と啓発を促す機会とするためというものです。実施日時は、平成28年3月26日、土曜日から、27日、日曜日まで。小岩小学校からなぎさ公園、そして、小岩菖蒲園までのコースで、地区内の小学校の卒業生と保護者を対象に行う事業です。経費の徴収といたしましては、一人500円、保険料と食料費というものでございます。賞状・副賞等はございません。後援の内容は、後援名義の使用というものでございます。</p> <p>以上3点について、よろしく願いいたします。それぞれ資料として、企画書を三つの事業につきましておつけしてございます。よろしく願いいたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまの件につきまして、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p>

石井委員	2点目のナイトウォークですが、多分、この実施要項が保護者の方々にわたるとのことだと思えます。毎年やっていて、コースもわかっているでしょうということだろうとは思いますが、小松小学校を出て、多分14号か何か都心に出て皇居を半周するんですか。
教育推進課長	皇居を半周になるでしょうか。
教育長	ずっと14号を上がってきますよね。
教育推進課長	小松川小学校出てからずっと京葉道路を行きまして、その後、江戸通りを越えて須田町から靖国通り、駿河台下まで行きまして、靖国神社まで。靖国神社から千鳥ヶ淵のほうを通過して、内堀通りを通過して、ずっと二重橋のほう、警視庁の前の通りですね。警視庁を通過してから、銀座四丁目で左折します。中央通りのところまで来まして、そこから永代通りのほうに入って南をずっと歩いてきまして、清澄通り、三ツ目通りから仙台堀川のほう横十間川公園ですかね。そのあたりを通過してから、それから、また北に上ってきまして、番所橋通りから東王子前駅の横を通過して、また小松川小まで戻ると。ぐるっと一周回る形になるんですね。
石井委員	そういうことですね。あと、これも全然運営上の問題はないとは思いますが、そのコースでお聞きすると、トイレって実は道路の周辺にはほとんどないんじゃないかなと思えますが、そこら辺は、どう工夫されているのでしょうか。
教育長	トイレは、行く途中のコンビニを借りたりですね。あとは、本当の公園のところの何て言うんでしょうか、トイレありますよね。ああいうものを借りたりします。それで、卒業した後の6年生が大方7割以上来ると思えます。その子どもたちと同人数ぐらいの随行の大人が出ます。ですから、警察が小松川警察から始まって、その警察署が全部ご協力していただくということになっています。それでも、ちょっとぐあいが悪くなって、車で後ろをついていく人たちもおりましてというようなことでございますので。一番不安なのは雨天が、途中で雨が降ることがありますが、そのあたりはもう万全を尽くしていると思います。
尾上委員	今、教育長が卒業生の約7割とおっしゃいましたが、小松川・平井地区小

教育推進課長	<p>学校というのですか、何校で実施になるのでしょうか。</p> <p>平井・小松川地区というのは7校です。ちなみに、昨年の参加者が694名でした。</p>
教 育 長	<p>そうでしたか。</p>
教育推進課長	<p>これは、恐らくお子さんだけではないと思います。児童だけで言うと、小松川・平井地区で6年生は400人ぐらい。保護者の方や、この関係者の方、地区委員会の方ですね。</p>
尾 上 委 員	<p>ちょっと不思議な感じですけども、マラソンと同じように、スタートから最後の人までというのは、細い道を何列かで歩くわけですから、結構、これだけの人数があると時間差があると思うんですけども、スタートはみんな集まって、終わった後は帰りみんな集まって、それで解散という、そういう形態をとっていらっしゃるのでしょうか。</p>
教育推進課長	<p>小松川のナイトウォークは参加したことはないのですが、皆さんやはりずっと一緒に動いていく、縦長にはなるでしょうけれども。そこに、サポートする方々も、例えば車であったり、自転車であったり、ずっとついていきます。スタートから、全員戻ってきた時点で解散ということになります。途中、先ほど食事とかありましたけれども、小松川はどちらでおとりになるかわからないんですが、どこかの恐らく公園か何かでカップヌードルか何かを食べるんじゃないかと思います。ちなみに小岩北地区は、南のほうのなぎさのほうまで行ったときにカップラーメンを食べて、それで帰ってくるというような江戸川をずっと下っていくコースですので、途中途中、河川敷にあるおトイレに寄ったり、そうして帰ってくるという内容でございます。</p>
教 育 長	<p>これは尾上委員、学校ごとに大体班で分かれています。それで、もちろん前と後ろに大人がついたり、地区委員さんがついたり、あと鍼灸院・接骨院グループと書いてありますが、こういう方がついたり。あと、ここに法人会とありましたね。北法人会の青年部の方もご協力をいただいたり、みんなが子どもたちを守るような感じで歩いて行かれました。だから、余り脱落する子はいないのです。子どもって錦糸町あたりまで元気にぼんぼん歩いていくんです。会話しながら、子ども同士で会話したり励まし合いながら、2</p>

	7キロですよね。明け方に帰ってくる。6時に到着するということでございます。
尾上委員	ありがとうございます。
上野委員	小岩のほうもやはり600人、700人、参加者同じくらいなんですか。
教育推進課長	小岩のほうは、予定としては6年生卒業生が大体250名、この主催者であります北小会の方々、関係者の方々に約100名でございます。
上野委員	同日にやるんですね。
教育推進課長	そうですね。
教育長	これは、卒業式が終わってからやります。ここがいい同窓会じゃないですけども。ですから、学校の先生方もかなり出てまいります。
教育推進課長	校長先生方も一緒に。
教育長	よろしいですか。
	〔「はい」と呼ぶ者あり〕
教育長	<p>それでは、ただいまの報告事項を了承させていただきます。</p> <p>続いて、平成27年度東京都教育委員会「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果についての報告に参ります。事務局から説明をお願いいたします。</p>
指導室長	<p>平成27年度東京都教育委員会「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について報告をいたします。横判で、概要版を1枚お出しさせていただきました。</p> <p>まず、左側のほうに調査の概要について書かせていただきましたが、今年度7月2日、木曜日に、小学校5年生、それから中学校2年生を対象に実施いたしました。内容については、例年どおりでございますが、小学校の国語、社会、算数、理科、中学校の国語、社会、算数、理科、英語、それから、子</p>

	<p>どもたちへの質問紙、それから学校への質問紙ということで、区内の全校で実施いたしました。</p> <p>結果を平均正答率で表わしましたが、上のほうが小学校、下のほうが中学校で、江戸川区の小学校全校の平均正答率、それから東京都の平均正答率と、あと、右側の欄に区と都の差でございます。三角が、江戸川区が東京都を下回るのは三角、国語で言いますと2.6ポイント、東京都の平均正答率を下回っているというふうに見ていただければと思います。それから、中学校のほうも同じように5教科、それと、一番下に5教科平均ということで書かせていただきました。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	ただいまの件につきまして、ご質問、ご意見ございますでしょうか。
石 井 委 員	中学校のほうで見ますと、全体的にというか、都を上回っているところが結構多いなと思えるんです。この中学校2年生が小学校5年生のときに多分受けたとは思いますが、そのときの結果っていかがでしたでしょうか。
指 導 室 長	これまで小・中学校いずれのも、東京都の平均正答率を上回ったことがございません。ですから、今のこの中学生が小学生だったときにも平均正答率を下回っていたという結果です。
教 育 長	これは、第何回目になりましたっけ。
指 導 室 長	平成14、5年ぐらいから継続的に行っております。
教 育 長	13回、4回ぐらいですかね。初めて上回ったということですね。
松 原 委 員	この5教科の平均で、0.7ポイント上がるということは大変なことなんです。なぜならば、2年生は3,000人ぐらいいますよね、多分。その人数が、0.7ポイントずつ取るわけですよ。これは、もう極めて素晴らしいことだと思うのです。多分、十数年間で、初めてこういう結果になったと思うんですけど、私は、やはりいいことなんで、それは評価していただいて、来年も頑張るようには思っています。やればできるんだという自信を持たせたいですね。以上です。

石井委員	先ほどの私が申し上げたこと、小学校5年と中学校2年、それがどうだったかというようなところを少し歴史的なところも踏まえてウォッチしていただければ。
教育長	大事なことですよね。この中学2年が小学校5年のときに受けていますから。そのときに、どのぐらいの成績だったのか。
指導室長	今、こちら概要版に引き続いて、調査結果の内容は分析をしております。また、その分析の結果を公表する予定ですので、その中で、同じ集団が小学校5年生のときにどうだったかということを加えさせていただこうと思います。
尾上委員	先日、船堀小学校でしたかしら、お便りいただく学校からの中を見ましたら、このことが出ていました。それで、自校の成績、それから江戸川区、東京都ということで比較をしていらして。かなりいい評価で、これから一生懸命取り組んでいきたいというような、そういうコメントが載ってありました。各校、そういう形で自校の評価をしっかりとされているかどうか。ぜひ、学校に問い合わせ等をしていただければなと思います。
指導室長	全国の学力調査と同じように、東京都のこの学力調査につきましても各学校が結果の公表をします。その中で、分析と方策、これからどう取り組んでいくかというところ。授業改善推進プランとして、全校これから公表していきます。
尾上委員	ありがとうございます。
上野委員	松原先生に質問したいんだけど、都と比べて社会の2.9大きいですよ。
松原委員	大きいですね。
上野委員	それから、理科も1.3。これもすごいでしょ。これ、どういうところからこうなっているのかなということはわかりますか。
松原委員	難しいですね。理科は、やはり科学センターというのがありまして、そこ

	<p>に、全校から理科好きな子どもたちが理科の先生と一緒に、土曜日の午後集まるわけです。回数にすると、多分、10回ぐらい。自由研究もあるんですけども、そういう理科の先生を中心にしながら、そういった取組が大きいんじゃないのかなと思うんですよね。それだけじゃないと思うんですけども。それから、あと実験をやったり、実践的に観察をやったりという、理科に関してはそういう授業改善が多分あるんだろうなと思うんです。</p> <p>社会はちょっとわからないんですけども、やはり授業改善を図っているからこういう結果になっているんじゃないでしょうかね。</p>
上野委員	相当、顕著ですよ。
松原委員	社会科部長に聞くといいかもしれないですね。
上野委員	あえて言うわけじゃないですけども、優秀だったところの、どうして、こんなにここがいいんだろうというようなことは、もうちょっと教えてもらいたいですね。いろいろな要素があると思うんですけどもね。落ちついていることも要素なんですよけれども、教え方なんかね。
指導室長	<p>全体的に、子どもたちへの質問紙からは、当たり前前の答えかもしれませんが、授業がわかりやすいというのが一番、中学生は特に上位でした。どの教科もわかりやすいと。ただ、そのわかりやすい授業というのが一斉授業の形態だったり、その中身のことについてはイコールいいということではないかなと思うんですけども、とにかく落ちついて、きちんと子どもたちが授業を受けて、そこで理解しているということが子どもたちの質問紙からは見えてくる。実際、子どもたち、特に中学校は今落ちついてきていますので、そういったところが反映しているのかなというふうには思います。</p> <p>あと、社会科なども、社会科部会でもかなり授業研究をされていて、そのところで、もしかしたら効果を出しているのかなと思います。</p>
教育長	いいでしょうか。うれしいことです。私が見た結果ですと、この13年間だったと思いますが、1科目だけ東京都の平均を小・中で全体で超えたことがあるぐらいなんです。
上野委員	科目は何ですか。

教 育 長	やはり社会科か理科だったと思いますけれども、1科目だけだったです。あとは三角ですよ。それが、今回、中学校は平均も超えて、快挙ですよ。
上 野 委 員	偶然じゃないでしょうからね。努力の結果だと思うので。
教 育 長	<p>だから、徐々に、これやはり。小学校も、昨年よりは都との差が縮まっている。全科目、中学校も縮まったり、プラスになったりしているんですよ。だから、そういう意味で、やはりいい傾向ですよ。</p> <p>そんなことで、よろしいでしょうか。</p> <p>〔「はい」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	では、続きまして、平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査についての報告をお願いします。事務局、お願いします。
指 導 室 長	<p>平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の報告をさせていただきます。また、A4横判をごらんいただければと思います。例年行っているものでございますが、左側に調査の趣旨、概要、それから実施校数を書かせていただきました。全校、全児童生徒でございます。右側が結果で、暴力行為、それからいじめの認知件数、不登校の状況、3点を抽出して書かせていただきました。</p> <p>暴力件数でございますが、上の段が小学校、下の段が中学校ということで、左から学校数、それから暴力行為が発生した学校数。括弧は、問題行動調査では校外での暴力行為、それから校内での暴力行為ということで、別々に数を調査しておりますが、ここでの発生件数は校内校外合わせた数字でございます。つまり、小学校の発生校数11校(12)というのは、一つの学校が校外でも校内でも暴力行為が発生しているということで、重複している数字でございます。校内校外合わせて、暴力行為が小学校が35件、単純に1校当たりで計算しますと0.48件ということでございます。東京都が0.25件、全国が0.55件ということで、比較の問題ではないかと思いますが、区内で、昨年度35件の暴力行為があったと。中学校につきましては320件、33校中22校で320件の暴力行為があったということでございました。</p> <p>それから、3番目のいじめ認知件数でございますが、同じように見ていただきまして、小学校73校中33校でいじめを認知したと。認知した数が1</p>

	<p>0 2 件、1 校当りに換算しますと 1 . 4 0 ということでございます。中学校は、認知件数が 1 2 5 件。1 校当たり、単純に割り算しますと 3 . 7 9 件ということです。いじめの認知件数につきましては、全国とか東京都よりもかなり件数は少ないというところでございます。</p> <p>それから、4 番の不登校の状況でございますが、不登校数が小学校が 1 8 7 人、それから、中学校が 6 3 2 人です。小学校の不登校の出現率が、これも単純に割り算をして 0 . 5 2 %、中学校が 3 . 8 1 %。これは、国や東京都の出現率を上回る出現率でございます。それらをグラフにしたものが右側、それぞれ暴力行為、いじめ認知件数、不登校について、3 年間のグラフにまとめさせていただきました。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいまの件についてのご質問、ご意見ございますでしょうか。</p>
石 井 委 員	<p>4 番、不登校の状況の右側のグラフについて、お伺いしたいんですが、この縦軸はどういう数値でしょうか。</p>
指 導 室 長	<p>不登校の出現率です。全ての子ども数と不登校になった子どもの数を割り算したものです。</p>
石 井 委 員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>続いて、いいですか。暴力行為、いじめ、それから不登校、学校の件数があるんですが、これを集合のベン図的な書き方をすると、どういうふうになるのかな。つまり、三つともある学校とか、それから暴力といじめがある学校、それぞれ単独である学校というような、そんなのも出す必要はないと思うのですけれども、持っていていい資料かなと思いました。</p>
教 育 長	<p>そうですね。特に中学校は、一番上が 1 1 校ない、次が 4 校だけない、次が 1 2 校ということなんで、全てない学校があるのかどうかというのもちょっと知りたいところですよね。確かに。</p>
石 井 委 員	<p>あるいは、全部ある学校。</p>
指 導 室 長	<p>ちょっと分析したいと思います。実は、昨年度まで、この委員会で発生学校数というのは出していなかったんです。発生件数だけをこちらで報告して</p>

石井委員	<p>いたんですが、発生件数だけだと、どこの学校、どれぐらいの学校で発生しているのかが見えてこないのので、今回、発生学校数を加えさせていただいたのですが。さらに、暴力行為、いじめ、不登校のそれぞれの関連性といえますか、少し分析をしてみたいと思います。</p> <p>二つ目なんですけれども、暴力行為のところで、教員の体罰の裏での子どもたちの暴力行為というのですか。そういった子どもたちとの信頼関係というのが、多分背景にもあるのかななんて思っています、引き続き、教師による体罰という問題についても、子どもと裏の関係もあるんじゃないのかなというふうに思っていたのですけれども、それが1点と。</p> <p>それから、不登校なんですけれども、中学校のほうが3.81ということで、まだまだ厳しい現状がございまして、500名で計算し直すと、500で大体3.3%なんですよね。だから、この人数で、1万6,590ですね。ですから、非常に厳しい課題ですけれども、500を当面切るような形に努力目標を設定しないとなかなか厳しいなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>関連して暴力行為、特に中学校なんです、22校で、校外合わせると35校と書いてありますが、校内校外合わせると320件で9.70と非常に高いんですが、この暴力行為について少しご説明いただいたほうがいいんじゃないかと思うんですが。</p>
指 導 室 長	<p>学校からの報告を見ますと、22校の中でもやはり片寄りがあります。22校の中でも、非常に少ない一桁の学校から二桁の学校、二桁の中でもかなり多い学校とちょっと片寄りがあって、合計して320件ということになっています。</p> <p>暴力行為の内容ですが、これはなかなか学校の暴力行為というふうにカウントする認識の違いがございました。昨年度の報告を今年度受けているわけですけれども、例えば小学校のほうで、暴力行為が、ある学校は39件と出してきたところがあったんですけれども、よくよく聞き取りをしてみますと暴力は暴力なのかもしれない、些細な小さい子のけんかみたいなのをカウントしてきたりというところで、なかなかこの線引きが難しいところがあるかなと思います。明らかに一方的に暴力を振るったようなところをカウントしています。小学校の場合は、そんなに大きな傷害事件のような暴力行為ではほとんどありません。中学校の中では、やはり周りに悪意を持った暴力的な</p>

<p>教 育 長</p>	<p>こともかなり中学校になると多くなっているのが昨年度の状況でございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>〔「はい」と呼ぶ者あり〕</p>
<p>教 育 長</p>	<p>それでは、他になければ、ただいまの報告事項を了承させていただきます。続いて、教職員の人事の報告でございますが、これは人事に関する案件であるため、江戸川区教育委員会会議規則第13条の定める秘密会により審議したいと思いますが、この発議賛成の方、挙手をお願いいたします。</p> <p>〔賛成者挙手〕</p>
<p>教 育 長</p>	<p>賛成多数でございます。これにより、会議は秘密会となります。</p> <p>〔秘密会により報告〕</p>
<p>教 育 長</p>	<p>続いて、いじめ電話相談についての報告に参ります。それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>指 導 室 長</p>	<p>いじめ電話相談平成27年11月について、ご報告いたします。11月1日から30日の間に、いじめの電話相談が1件ございました。該当する子どもは、中学校1年生の男の子についての相談です。相談内容は暴力、それから直接的な言葉です。以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>この件について、ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、報告を了承させていただきます。</p> <p>以上をもちまして、平成27年第23回教育委員会定例会を終了いたします。</p> <p>閉会時刻 午後4時15分</p>